

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 21 日作成)

小委員会名	出版小委員会	主 査 名：野口 憲一 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会 (海洋企画運営委員会)	委員長名：横内 憲久 主 査 名：桜井 慎一
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋委員会であげた成果物「都市機能補完型海洋建築」の出版</li> <li>・海洋建築物構造設計指針改定版の具体的な出版に向けての作業</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：野口 憲一(大成建設) 幹事：恵藤 浩朗(理工学研究所) 委員：清水 五郎(日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	設計指針見直しWG 総則案を作成し、改定方針とした。今後、設計指針改定WG を立ち上げ、改定作業を進めることを進言。	
2006 年度予算	39,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij./kaiyo/s0/activity/project/press/press.htm">http://news-sv.aij./kaiyo/s0/activity/project/press/press.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 成果物「都市機能補完型海洋建築」は、「海を利用して安全で快適な都市をつくる」として原稿があがったが、出版社との折衝中で、出版に至っていない。 2. 設計指針の見直しでは、総則案で方針を示し、当初の目的を果たした。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会全体の成果物の出版企画および刊行のルール敷きであり、成果物の内容については、運営委員会任せのところがあり、スケジュールどおり進められていない。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

\* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。